

「東京芸術祭 2019」今秋 9月～11月開催

**国内外の多彩な舞台芸術が一挙に集う祭典
～今年のテーマは「出会う。変わる。世界。」～**

東京芸術祭実行委員会は2019年9月21日から11月23日の期間、豊島区池袋エリアを中心に東京芸術祭を開催いたします。東京芸術祭は2018年より総合ディレクターに就任した宮城聡（演出家/SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術監督）を迎え、「ひらく」「きわめる」「つながる」の3つの柱を掲げ、構成団体のディレクターからなるプランニングチームとの協働体制によりプログラムを展開しております。本年度は「出会う。変わる。世界。」をテーマに掲げ、新規に開催する「東京芸術祭ワールドコンペティション」をはじめ多彩なラインナップで開催いたします。

「出会う。変わる。世界。」

今、「自分が世界を変えられる」という実感が失われています。その原因は、出会いによって人が変わっていくことを目の当たりにする機会が失われつつあることです。

人と人が出会い、ともに変わっていくような場と時間をつくる「舞台芸術」という技術が、世界中で、何万年もかけてつくり上げられてきました。でもこの技術は、今の経済システムのなかでは「非効率的」と見なされがちで、放っておくと失われかねません。

でも、これこそ、今、人間が最も必要としている技術ではないでしょうか。仮想空間では、どんな情報にもアクセスできるかのように感じられる一方で、自分ひとりでは動かし得ない世界があることを思い知らされます。

とはいえ、そんな世界を見せてくれるシステムだって、今のところは人間がつくっています。そして今日の先端技術のかなりの部分がアジアでつくられています。また、先端技術が生む問題もアジアで先鋭化しています。私たちが、今、ここで、新たなシステムをつくっていかなければ、「アジアの時代」は希望の時代とは言えなくなるでしょう。

東京芸術祭は舞台芸術という祝祭を通じて、「自分が世界を変えられる」ことを実感できるような場と時間とをつくっていきます。

東京芸術祭プランニングチーム

【東京芸術祭 2019 開催概要】

名称: 東京芸術祭 2019 (英語名 Tokyo Festival 2019)

会期: 2019(令和元)年9月21日から11月23日

会場: 東京芸術劇場及び劇場前広場、あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)、
東京建物 Brillia HALL(豊島区立芸術文化劇場)ほか 東京・池袋エリア

主催: 東京芸術祭実行委員会[豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、フェスティバル/トーキョー実行委員会、東京芸術劇場・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)]



東京芸術祭2019は
東アジア文化都市2019豊島と
連携して開催いたします。



令和元年度 文化庁
国際文化芸術発信拠点形成事業
(豊島区国際アート・カルチャー都市推進事業)

◇東京芸術祭、本リリースに関するお問い合わせ◇
東京芸術祭実行委員会事務局
TEL050-1746-0996(平日 10:00-18:00)
E-mail info@tokyo-festival.jp

東京芸術祭ワールドコンペティションが始動 国内外の多彩な舞台作品上演、多様な企画

本年度、東京芸術祭は新たに「東京芸術祭ワールドコンペティション 2019」を実施いたします。
世界各地の舞台芸術界を代表するディレクターらから推薦を受けたアーティストの作品を上演し、各地の舞台芸術シーンをリードするアーティストを審査員に迎え最優秀作品賞を決定します。
東京から舞台芸術の新たな世界基準を創造・発信してまいります。

さらに、海外で高い評価を得ている作品の上演や、新たなクリエイション作品の発表、例年展開している企画等さまざまなプログラムを展開します。

世界で最も影響力のある演出家の一人としていま常に注目されているドイツのトーマス・オスターマイアー演出「暴力の歴史」や全編手話で演じられるロシアのレッドトーチ・シアター「三人姉妹」等の海外で評価の高い作品の日本初演のほか、ポーランドのマグダ・シュペフト等の海外の演出家と日本のアーティストによる共同制作作品も上演いたします。

また、出演者を公募して新たなクリエイションを行うノゾエ征爾演出「吾輩は猫である」を東京芸術劇場の劇場前広場で野外上演するほか、コンドルズ率いる近藤良平が豊島区民と創る新作「Bridges to Babylon」、毎年恒例の「大田楽 いけぶくろ絵巻」、「伝統芸能@野外公園」(観世喜正出演・新演出による薪能公演と全国の民俗舞踊を見て・参加して楽しむ踊りの祭典)など、さまざまなジャンルの舞台芸術をお楽しみいただけるプログラムとなっています。

国内外の多彩な舞台芸術を結集して開催する東京芸術祭2019は、東京芸術劇場、あうるすぽっと、東京建物 Brillia HALL(豊島区立芸術文化劇場)など東京・池袋エリアで開催いたします。

東京芸術祭 2019 プログラム一覧

(2019年6月7日現在予定)

事業名	日程(予定)	会場(予定)
伝統芸能@野外公園 「薪能」(仮) (東アジア文化都市 2019 豊島スペシャル事業)	9月21日(土)	東池袋中央公園 特設舞台
伝統芸能@野外公園 「ひとはおどる」(仮) (東アジア文化都市 2019 豊島スペシャル事業)	9月22日(日)	東池袋中央公園 特設舞台
『奈々福の、惚れるひと。』	10月1日(火)	あうるすぽっと
フェスティバル/トーキョー19	10月5日(土)~11月10日(日)	東京芸術劇場、あうるすぽっと、 シアターグリーン ほか
レッドトーチ・シアター『三人姉妹』	10月16日(水)~20日(日)	東京芸術劇場 プレイハウス
デューダ・パイヴァ・カンパニー『BLIND』	10月17日(木)~20日(日)	東京芸術劇場 シアターイースト
『野外劇 吾輩は猫である』 脚本・演出:ノゾエ征爾	10月19日(土)~29日(火)	東京芸術劇場 劇場前広場
『暴力の歴史』 演出:トーマス・オスターマイアー	10月24日(木)~26日(土)	東京芸術劇場 プレイハウス

APAFーアジア舞台芸術人材育成部門	9月26日(木)～10月30日(水) APAF Exhibition 公演 10月25日(金)、26日(土) APAF Exhibition ラップアップ 10月27日(日) APAF Lab.最終公開プレゼンテーション 10月27日(日)	東京芸術劇場 シアターウエスト
東京芸術祭ワールドコンペティション 2019	未定	未定
『能でよむ～漱石と八雲～』(仮)	11月9日(土)、10日(日)	あうるすぽっと
大田楽 いけぶくろ絵巻 (東アジア文化都市 2019 豊島スペシャル事業)	11月10日(日)	東京建物 Brillia HALL(豊島区立芸術文化劇場)、中池袋公園ほか
コンドルズ× 豊島区民 『Bridges to Babylon -ブリッジズ・トゥ・バビロン-』 構成・映像・振付:近藤良平 (東アジア文化都市 2019 豊島スペシャル事業)	11月20日(水)～23日(土)	東京建物 Brillia HALL(豊島区立芸術文化劇場)

連携事業

伝統芸能公演『神々の残照』 共催:アーツカウンシル東京、国立劇場	5月25日(土)	国立劇場
第31回池袋演劇祭	9月1日(日)～30日(月)	豊島区内及び近隣

特別公演

NODA・MAP 新作	10月～12月	東京芸術劇場 プレイハウス
伝統芸能公演 『本物の芸に酔う 近松二題～鶴澤清治の芸』	11月28日(木)	未定

※内容は変更となる場合がございます。

<東京芸術祭とは>

2016年に開始した東京の多彩で奥深い芸術文化を通して世界とつながることを目指した、都市型総合芸術祭です。東京の芸術文化の魅力を分かりやすく見せると同時に東京における芸術文化の創造力を高めることを目指しています。

<総合ディレクター 宮城聡氏 プロフィール>

演出家。SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督。2017年、アジアでは初めてフランス・アヴィニョン演劇祭のオープニング作品に選ばれ「アンティゴネ」上演。
2018年、第68回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

©Ryota Atarashi



<東アジア文化都市とは>

日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するもの。2019年は中国西安市、韓国仁川広域市とともに豊島区が開催都市に選定されました。



※東京芸術祭 2019 は東アジア文化都市 2019 豊島と連携して開催致します。

文化庁公式サイト